

科 目	必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 専 攻	単 位 数	授 業 形 態									
地域環境工学 (Environmental Technology)	選	青木 仁孝	2 年生 エコシステム工学専攻	学修単位 2 単位	半期 週 2 時間									
授業概要	水環境、大気環境、土壌環境、バイオマス資源を授業テーマとして取扱い、地域環境を適切に整備・管理・保全するための工学的知識を修得する。													
到達目標	1. 地域の水環境における水質汚染・災害の内容とその対策技術について説明できる。 2. 地域の大気環境における環境問題の内容とその対策技術について説明できる。 3. 地域の土壌・地下水における環境問題の内容とその対策技術について説明できる。 4. 地域のバイオマス資源の特徴とそれらの資源化技術について説明できる。													
評価方法	課題評価 (100%) で行う。													
教科書等	【教科書】 なし 【参考書】 東京農業大学 地域環境科学部編「新版 地域環境科学概論」理工図書													
内 容	(1回の自宅演習は260分を目処にする。)				学習・教育目標									
第 1 回	水環境 (1)			(自宅演習)	C-1									
第 2 回	水環境 (2)			(自宅演習)	C-1									
第 3 回	水環境 (3)			(自宅演習)	C-1									
第 4 回	水環境 (4)			(自宅演習)	C-1									
第 5 回	大気環境 (1)			(自宅演習)	C-1									
第 6 回	大気環境 (2)			(自宅演習)	C-1									
第 7 回	大気環境 (3)			(自宅演習)	C-1									
第 8 回	土壌環境 (1)			(自宅演習)	C-1									
第 9 回	土壌環境 (2)			(自宅演習)	C-1									
第10回	土壌環境 (3)			(自宅演習)	C-1									
第11回	土壌環境 (4)			(自宅演習)	C-1									
第12回	バイオマス資源 (1)			(自宅演習)	C-1									
第13回	バイオマス資源 (2)			(自宅演習)	C-1									
第14回	バイオマス資源 (3)			(自宅演習)	C-1									
第15回	和歌山県の災害の特徴			(自宅演習)	C-1									
(特記事項)		JABEEとの関連												
第15回に和歌山県の災害の特徴について、講義をする予定である。		JABEE		a	b	c	d1	d2a)d	d2b)c)	e	f	g	h	i
		本校の学習		A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B	B
		・教育目標					◎							

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

地域環境工学 エコシステム工学専攻 2年生

第1週～第4週

地域の水環境（河川、湖沼、港湾、沿岸海域、灌漑水路など）における水質汚染・災害の内容とその対策技術について学ぶ。

第5週～第7週

地域の 대기環境について、光化学スモッグ、微小粒子状物質、自動車排ガスなどを原因とする環境問題の内容とその対策技術について学ぶ。

第8週～第11週

地域の土壌・地下水について、酸性雨、重金属、人工化学物質、農薬などを原因とする環境問題の内容とその対策技術について学ぶ。

第12週～第14週

地域のバイオマス資源の内容とそれらの資源化技術（メタン発酵、堆肥化、バイオエタノール生産など）について学ぶ。

第15週

和歌山県における災害の特徴について学び、和歌山県で生じる災害の被害発生メカニズムや対策を理解する。

【事前学習】

- ・シラバス指定の参考書などを用いて、次回の授業内容について予習する。
- ・和歌山県特有の地域環境問題について興味を持つ。

【事後学習】

- ・広報誌、ニュース、学術論文等を通じて和歌山県内やその他の地域環境における諸問題について考察を行う。